

◆6月18日 (土)

選手権大会・2回戦

vs札幌手稲ボーイズ
麻生球場

札幌豊平0000001:1
札幌手稲000020x:2

佐々木生一信岡

本塁打:無し
三塁打:清藤
二塁打:無し

- 5高野
- 7増田①
- 8寺岡
- 1佐々木生②
- 3清藤①
- 9清水
- 4我妻
- 2信岡
- 6腰山

◆6月19日 (日)

選手権大会・順位戦

vsとかち道東ボーイズ
栗山球場

札幌豊平0021113:8
とかち0001000:1

西正一信岡

本塁打:無し
三塁打:高野、寺岡、清藤
二塁打:相馬

- 9高野②
- 3相馬①
- 8寺岡②
- 5佐々木生2B→5堀畑①
- 7清藤③
- 4我妻①
- 1西正
- 2信岡
- 6野口①7A→PH鈴木海①
→R野澤7B→6腰山

◆6月19日 (日)

選手権大会・順位戦

vs札幌石狩ボーイズ
栗山球場

札幌豊平0100000:1
札幌石狩101000x:2

増田一信岡

本塁打:無し
三塁打:無し
二塁打:無し

- 9高野
- 3相馬
- 8寺岡
- 5佐々木生
- 7清藤
- 1増田
- 4我妻①
- 2信岡①
- 6腰山

絶対譲れない3年連続東京D

◆G杯への道 「第4回日本少年野球道選手権大会」の上位2チームがボーイズ・シニア・ボニーの3団体が参加する「第1回全日本中学生野球選手権大会」(7月・札幌円山ほか)の出場権を得て、優勝チームがG杯の道代表となる。

札幌石狩の4回1死一三塁、生還した清藤③を迎える札幌豊平ナイン

今西V 2点打
札幌豊平に逆転勝ち。同点の5回2死二、三塁、3番・今西秀士一塁手(3年)が中前に決勝

の2点適時打。「フルカウントまで粘って本当に良かった」と喜んだ。昨秋の道選手権準Vで、チーム初の道外大会を経験。「夏も全国に行きたい」と力を尽めた。

☆札幌豊平・高野実月石投手も3年の母・和美さんと父も学年関係なく丸で選手を支えています。

種張りの成長の3勝
札幌豊平、リーグ最終戦は札幌北広島にコールド負け、6イニングで4度走者を出したが無得点だった。それでも創部3年目で最多となるリーグ戦3勝をマーク。松嶋肇主将(たから、3年)は「去年より成長できた。18日からの大会は思い切り振った。大きい」と声を弾ませた。

中川足魅せた
札幌北広島、コールド勝ちした旭川北広島は番・中川征典中投手(3年)が括弧した。回り死、中間安打で出塁すると、盗二塁。次の打者が四球で先制二塁打になる。重盗で先制二塁打になった。10秒の復讐を繰り返して生かした。投手袖に打ってどう練習したいと意気込んだ。

札幌豊平 6勝4敗4位
札幌豊平は6勝4敗4位の成績で、4月にわたる熱戦に我妻主将(3年)が活躍をけん引し、チーム3年連続で優勝を逃した。だが、佐藤昇監督は「やはり最後の3年生の奮起が大事。札幌石狩戦で清水達貴左投手(3年)が適時三塁打をマーク、リーグでもあった清水は毎試合、1分間を頑張った。刺激を受け高の士気も上がっている。練習最後のボール開走に任せては大声を出し、気持ちを前面に出してタッシュ。全国出場する先輩の姿を見てきた我妻主将は自分たちも歴史を次につなげたい。ボーイズ勢初の3年連続東京D行きを切符を握る。

札幌豊平 6勝4敗4位
札幌石狩 1勝2敗5位
札幌北広島 2勝3敗3位
札幌南 1勝4敗4位
札幌東 1勝4敗4位
札幌西 1勝4敗4位
札幌中央 1勝4敗4位
札幌南 1勝4敗4位
札幌東 1勝4敗4位
札幌西 1勝4敗4位
札幌中央 1勝4敗4位

